

## 「交通史研究」投稿規定

### 一 投稿の原則

投稿する者は本会会員に限ります。但し、編集委員会よりの執筆依頼原稿はこの限りではありません。

### 二 原稿種別と枚数（四〇〇字詰め）

- (一) 論文 四〇枚から七〇枚
  - (二) 研究ノート 三〇枚から七〇枚
  - (三) 研究動向（問題提起）・史料紹介・書評 一〇枚から二〇枚
  - (四) 十字路（地域情報、研究余滴など） 五枚から一〇枚
  - (五) 巡見参加記 五枚程度＋写真
  - (六) 新刊紹介、博物館・展覧会情報等 適宜
- 上記の規定枚数の中には図・表・写真などをすべてを含みます。

### 三 原稿作成上の注意点

- 1. 原稿用紙を使用の場合は、四〇〇字詰めまたは二〇〇字詰め縦書き、一マス一字、丁寧な字で書いてください。
- 2. パソコン使用の場合、原稿種別の（一）から（四）までは一行二六字、それ以外は一行二八字で書式設定して入力してください。
- 3. 文字は原則として常用漢字を使用し、必要に応じてルビを付してください。
- 4. 註は本文行間に（一）、（二）のように順番に示し、本文末尾に列記してください。出典の表記は、原則として、著者名、論文名または書名、掲載誌（巻号）または出版社、発行年、頁数

の順に記載してください。

- 5. 章立ての階層の表記は、一、（一）、1の順としてください。
- 6. 原稿執筆に際しては、必ず「交通史研究」執筆要項（希望者に配布しますので事務局までお問い合わせください）をご参照ください。
- 7. 数字は漢数字を用い、万の位以上は単位語を入れてください。四ケタ以下の金額・距離・法量・百分率・西暦年数などの表記の際は、単位語は用いず例文の表記に従ってください。※例：一〇九万六三〇〇円／一〇・六km／二〇一四年
- 8. 元号記載の際は、必要に応じ西暦をカッコ内に記してください。※例：昭和二十一年（一九四六）十二月二十五日
- 9. 図・表・写真は、論旨の展開上、必要最小限の枚数に限り添付してください。トレースなどが必要な図は業者に依頼しますので、実費を負担していただきます。なお、図・表・写真は表題・出典を明記し、必要であれば説明文を添えてください。図・表・写真などの挿入箇所を原稿余白に指定してください。また、これらの著作権等についての処理は必ず執筆者本人が行ってください。その際、本投稿規定九により、インターネット上で公開されることを前提として許可等を得るようにしてください。執筆者の責任の範囲内で生じた著作権等に関する問題については、本会は一切責任を負いません。
- 10. 原稿種別の（一）から（二）には英文タイトルを付しますので、原稿送付状に英文タイトル、ならびに英文の的確さを校閲するため、二〇〇字程度の要旨を記載してください。編集委員会にてネイティブチェックを行います。
- 11. 原稿種別の（一）から（五）については、原稿送付状に三か

ら五のキーワードを記してください。

#### 四 審査

1. 原稿種別の(一)から(三)の投稿原稿の採否は、編集委員会が依頼した査読者二名以上の意見をもとに編集委員会が決定いたします。投稿後四カ月以内を目的に採否もしくは審査の進捗状況を通知いたします。なお、二重投稿は認めません。
2. 審査結果により、原稿種別の変更をさせていただく場合があります。編集委員会が必要と認めた場合は修正をお願いします。また編集段階で細部の表現上の修正を加えることがあります。

#### 五 抜刷等

1. 原稿種別の(一)から(三)の執筆者には掲載誌を三部進呈いたします。
2. 抜刷を希望される場合は、五〇部単位での実費負担となります。必要部数を原稿送付状に明記してください(五〇部五〇〇〇円程度)。

#### 六 投稿方法

1. 原稿種別の(一)から(三)については、オリジナル原稿一部とそのコピー二部、計三部、ならびに送付状(ホームページからダウンロード可)を本会事務局(会誌奥付参照)宛に書留郵便にてお送りください。同時に本会事務局メールアドレス(ishtc@koususho.org)宛に原稿を送付した旨のメールを送信してください。掲載決定後、ワープロ原稿の場合は印字した最終原稿一部とそのワープロソフト(ソフト名を明示すること)の

データをCD-ROMでお送りください。なお、最終原稿・CD-ROMは原則としてお返しできませんので、ご了承ください。原稿種別の(四)から(六)については、編集委員会が指定するメールアドレスに添付ファイルで送付してください。なお、編集委員会が若干の修正をお願いする場合があります。

#### 七 校正

原稿種別(一)から(四)については、著者による校正を一回とします。その他の原稿の著者校正は原則としてありません。

#### 八 論文の転載について

本誌に掲載された原稿種別の(一)から(二)は、公開データベースはもちろんのこと自己のホームページであっても、原則として掲載後二年間は転載をご遠慮ください。二年後に転載を希望される方は本会事務局へ問い合わせ、編集委員会の許可を得てください。

#### 九 掲載原稿のインターネット上での公開について

二〇一五年四月以降に本誌に掲載された(一)から(六)の原稿は、とくに執筆者からの申し出がない限り、すべて独立行政法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナル公開システムであるJ-STAGEにおいて、会誌掲載後一定期間を経て公開されます。ご投稿・ご寄稿いただいた原稿は、その旨をご了承いただいたものとします。

(二〇二〇年十月一部改訂)

